

企画建設常任委員会 摘 録

1. 開催日 令和6年3月15日(金) 第2委員会室
2. 出席委員 吉川遂也委員長 藤原洋二副委員長 堀井秀昭 徳永泰臣 近藤久子 政野太
松本みのり
3. 欠席委員 なし
4. 事務局職員 横山和昭議会事務局議事調査係長
5. 説明員 足羽幸宏企画振興部いちばんづくり課長 世良望企画振興部いちばんづくり課いちばん
づくり係長
6. 委員外議員 なし
7. 傍聴者 1名
8. 会議に付した事件

- 1 令和5年度庄原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の効果検証(令和4年度分)に
ついて

午後1時8分 開 議

○吉川遂也委員長 ただいまから企画建設常任委員会を開会いたします。傍聴、録音、写真撮影、録画を許可いたします。

1 令和5年度庄原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の効果検証(令和4年度分)について

○吉川遂也委員長 本日は、令和5年度庄原市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の効果検証について報告を受けたいと思います。では、説明をお願いします。

○足羽幸宏いちばんづくり課長 説明させていただきます。資料を見ていただければと思いますが、1の趣旨でございます。第2期総合戦略は、計画期間を令和3年度から7年度とし、令和3年3月に策定をいたしております。令和4年度に取り組んだ個別施策をPDCAサイクルに基づく効果検証を行い、取りまとめをしておりますので、この委員会へ報告するものでございます。次に、2の効果検証の方法です。個別施策の進捗状況につきまして、所管課の自己評価、いちばんづくり課による評価を行った後に総合戦略推進委員会を開催し、最終評価を行っております。委員会での評価と出された意見につきましては、各担当課へフィードバックすることで施策に反映し、各施策の推進を図ることとしております。なお、効果検証の方法につきましては詳細な説明は省略いたしますけれども、資料の7ページ8ページをごらんいただければと思います。こちらにあります7人の外部委員さんに委員になっていただきまして、計3回の委員会を開催し評価を行ったところでございます。1ページに戻っていただきまして、3の総合戦略の効果検証の結果でございます。まず(1)、基本目標ごとの指標達成率はこちらの表のとおりでございまして、4つの基本目標に全部で31の個別施策、62のKPIを設定いたしまして、全体の達成率は24.2%でございます。次に(2)、個別施策ごとの評価の概要ですが、評価基準はAの目標達成に有効であったから、Dの達成に効果がなかったまでの4段階評価と

なっております。2ページ以降に評価結果の概要を記載しております。なお、詳細な評価結果につきましては、一緒に配布をしております、資料2の評価シート、さらには資料1では、基本目標ごとの数値目標と各段階での評価結果、目標数値に対する実績値をまとめた資料をつけておりますので、これは後ほど御参照頂ければと思います。それでは2ページを見ていただきまして、評価結果の概要です。表につきましては、左から個別の施策、取り組みの概要を記載しまして、右側に委員会での最終評価結果を記載しております。まず、基本目標1、庄原の強みを生かした仕事を創出し、安心して働き続ける場を確保するには、基幹産業の農林業をはじめ、観光の取り組みや企業誘致、創業支援など、(1)から(9)までの個別施策がございます。評価でございますが、相当程度有効であったというB評価が多い中、効果があるが改善が必要であるというC評価が、(6)、(8)、(9)となっております。委員会での意見といたしましては、(6)では、お試しオフィス利用件数が1件ふえたが、誘致件数の増加につながっていない。PRの状況や誘致の取り組みが具体的に見えてこないの、明確にしてほしいとの意見がございました。また、(8)では、合同就職面接会の求職者、採用者数が少ないことから、実施方法等の検討や情報発信の強化を求める意見がございました。そして、(9)では、セミナーへの参加者数等が少なく、商工団体との連携した取り組みを求める意見が出されまして、C評価という結果となっております。次に、基本目標2、多様な人材が活躍できる環境を整え、人の流れを創出するには、就業機会の創出や住環境の整備、地域活動や学校教育、転入定住の促進など、(1)から(8)までの個別施策がございます。(5)の空き家の活用が有効であったという、A評価になっております。そのほかはB評価が多い中、(1)の就業機会の創出では、合同就職面接会の参加者数が少ないため、いきいき働く協議会やハローワークとの一層の連携した取り組みを求める意見がありました。また、(6)関係人口の活用では、ふるさと納税の寄附額が県内の市では最下位であることや、体験プログラムの参加者数が民泊の受入れが中心になるなど伸び悩んでいることから、受入れ体制やプロモーション活動の改善を求める意見が出され、C評価となっています。次に、基本目標3、結婚、出産の希望をかなえ、安心して子育てができる環境をつくるには、縁結び事業や、出産、子育て期にかけた包括的な支援体制の構築、学校教育の充実など、(1)から(6)までの個別施策がございます。そのうち、(2)、(3)がA評価となりました。そのほかB評価が多い中、(1)の庄原縁結び事業の推進では、成婚に結びついてはいるが、会員数や参加者数の減少など今後の事業展開を検討する必要があるとの意見が出されまして、C評価となっております。最後に、基本目標4、人が安心して暮らし集うことができる魅力ある地域づくりに取り組むには、デジタル技術の活用推進、生活交通、地域医療体制の維持、充実など、(1)から(8)までの個別施策がございます。B評価が多い中、(2)、生活交通の確保、維持では、生活交通利用者が減少していること、地域実態に合った対応の検討が必要であり、市と関係者との連携した取り組みを進めることを求める意見が出されております。また、(4)の地方創生を担う人材の活躍を推進するには、市内における外部人材の活用が十分ではない。活用に向けた検討を求める意見が出され、C評価となっております。最後に、4、今後の取り組みでございます。(1)の令和5年度では、本日の委員会で報告をさせていただきまして、この後、市のホームページで、令和4年度の施策の効果検証シート等の資料を公表する予定でございます。次に、(2)令和6年度のスケジュールは、令和5年度の効果検証を令和6年5月頃から着手をいたしまして、8月をめどに市内の評価を取りまとめてまいります。そして10月末を目途に推進委員会の評価をまとめ、12月にはこちらの委員会で報告させていただいて、公表というスケジュールで進めていきたいと予定

をしております。第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく施策の効果検証についての説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○吉川遂也委員長 説明に対し質疑を求めます。政野委員。

○政野太委員 いちばんづくり課としてこの全体的な評価について、どのように認識をしているのかという点を聞きたい。

○吉川遂也委員長 課長。

○足羽幸宏いちばんづくり課長 1ページの3、(1)、達成率を見ていただければと思いますが、全体で24.2%となっております。令和3年令和4年の取り組みの中でこの数値となっております。できればもっと、しっかりと取り組みを進めて、達成率がもう少し高い状況になっていくのが理想かとは思っておりますが、個別施策で見ますとコロナ禍の中で難しいところもあった。そうしたことを踏まえると十分ではないとは思いますが、取り組みはある程度できているのかと思っております。

○吉川遂也委員長 政野委員。

○政野太委員 これを見て、強みはここにあるのかなか、弱みはここにあるなと感じることはないですか。

○吉川遂也委員長 課長。

○足羽幸宏いちばんづくり課長 まず弱みというところで言いますと、C評価をいただいているところについては、やはり庄原市の弱みの部分であろうと思っております。一方、A評価になっているところ、また子育て支援策などは、外部委員さんから今後もしっかり続けてほしいという御意見も頂いておりますので、そうしたことは強みとして考えております。いただいた意見は全て担当課へフィードバックをさせていただいて、PDCAサイクルができるようにはしておりますので、令和5年度の取り組みについても、同じような形で進捗状況、外部委員さんからのフィードバックを進めていこうと思っております。

○吉川遂也委員長 ほかに。政野委員。

○政野太委員 きょう見させてもらったので全部は言えませんが、C評価をされている点については、外部団体が非常に大きく影響するところが多いのではないかと思います。だから、そこをもし強化するのであれば、例えば産学官であるとか商工会議所であるとか企業であるとか、そういうところが多分弱いと今出ているような気がするのです。その辺について、これは6年度予算案に反映することはあるのですか。

○吉川遂也委員長 課長。

○足羽幸宏いちばんづくり課長 来年度に向けてのスケジュールで言いますと、12月にこちらの委員会で報告させていただくスケジュールでいけば、当然、評価結果等も早く担当課にフィードバックすることで、それに基づいて予算付けという流れができてこようかと思っております。令和4年度の評価につきましては、最終評価結果が2月に出たということもありまして、少し時期的には遅いという状況になっていますので、時期的に令和6年度の予算に間に合わなかったという部分もあります。令和6年度の取り組みはそこを意識して、反映できるような形にしていかなければいけないと思っております。

○吉川遂也委員長 ほかに。藤原副委員長。

○藤原洋二副委員長 制度上の問題もあるかとは思いますが、こういった評価をしてフィードバックをして担当課に対応を求める。予算は今説明があったとおりなのですが、いちばんづくり課として、目標事業についてフォローアップをするような制度ではないと思うのです。ちゃんとフォ

ローアップをして、予算化まで考えられて進捗を出す必要があるかと思いますが、いかが考えていらっしゃるのか。

○吉川 遂也委員長 課長。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 全ての事業をフォローアップできるかについては、難しいところもあるかと思いますが。中でも重点的に進めていけない事業については、いちばんづくり事業に掲載をして進捗管理、必要であれば伴走型のフォローアップという形で取り組みをしているのが現状です。担当課も悩むところ等があれば、一緒になって伴走型で取り組んできた事業もありますので、この掲載事業全てということはちょっと難しいかと思っております。

○吉川 遂也委員長 ほかに。近藤委員。

○近藤 久子委員 子育て関係はA評価になっていますから、この強みを庄原市のいい方向の強みにしていただきたいと思うのです。せっかくAがついているのですから、全国的にアピールできるような形で、もっと上手にできるのではないかと思うのですけれども、その辺はどうなのですか。

○吉川 遂也委員長 課長。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 そうした意見も外部委員会の中でいただいておりますので、担当課にはフィードバックをさせていただくと、今回の議会でもさまざまな御意見をいただいておりますので、行政管理課も含めてこれはしっかりPRをしていきたいと思っております。

○吉川 遂也委員長 ほかに。近藤委員。

○近藤 久子委員 C評価は、ずっと以前からの庄原の課題ではないかと思うのです。それが改善できる可能性をもちろん感じてやらないといけないし、今後の行政の動きの中に組み入れて、CからBになってほしいし、BからAになってほしいのですが、その点どうなのですか。

○吉川 遂也委員長 課長。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 先ほど政野委員も言われましたけれども、民間との連携が少し庄原市の弱い部分があると感じるところです。例えば、庄原でいきいき働く協議会でありますとか商工団体、先ほど言いました産学官連携推進機構という機構もありますので、そうしたところとの連携をしっかり深める必要があるかと思っております。あとは、外部人材の活用も弱いところがございます。さまざまな分野にわたるところもあるとは思うのですけれども、総務省でもいろいろな制度があります。そうした制度も研究しながら、外部人材を入れながら、効率的で効果のある取り組みができるようにしたいと思えます。

○吉川 遂也委員長 近藤委員。

○近藤 久子委員 6ページに外部人材のことが書いてあります。例えば庄原の中で、こういうところには外部人材を登用すべきではないかと思っていられる部分があれば教えていただきたいのです。

○吉川 遂也委員長 課長。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 既に外部人材を登用しようというところで、DXの部分、正式には4月から外部人材を登用するように計画をされております。あとは、地域おこし協力隊員を受け入れての取り組みが何点かございますけれども、そうしたところも含めて外部の視点で進めるべきところについては進めていきたいと思えます。

○吉川 遂也委員長 ほかに。松本委員。

○松本 みのり委員 C評価のところも全てA評価に持っていくのを目指していくのがいいのか、それと

もC評価の中でも本当にてこ入れをして、市でやっていかなければならない部分と、しょうばら縁結び事業などは決算のときにも本当に必要な事業なのだろうかという意見がたくさん出てきたかと思うのです。そういったところは見直して、職員も減っていく中で全部が全部A評価を目指していくのでなくて、もうちょっと絞った形でされることは考えられないでしょうか。

○吉川 遂也委員長 課長。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 縁結び事業に関しましては、先ほども申し上げましたように結びついているケースがある一方で、会員数参加者数の減少。これは多様な価値観の中でそうしたことになると思います。担当課もこれまでのやり方の変更をしないといけないと考えておりますので、結婚、出産の希望をかなえるという目標に向けた取り組みをつくり出していかないといけないと思っております。

○吉川 遂也委員長 この仕組みの説明を求めるのですが、取り上げられている評価してもらう事業については、毎年度同じものか、あるいはどういう基準でこの事業を選んでおられるのか教えてほしい。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 これは戦略の策定をしておりますが、そのときに施策体系をつくりまして、施策ごとにどういったKPIを設定するのかを担当課とも話をし、策定時点でも外部委員さんとも議論をしながら、そういう戦略なりKPIを設定させていただいております。そこにあるものを選んで評価をしていただいているわけではなく、設定した施策を全て評価していただいているということなんです。

○吉川 遂也委員長 事業ではなくて政策でという話ですかね。きょねんと対比してどうかという評価が、ちょっと見えない部分があるのです。その辺の評価はできているのですか。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 資料1に簡単にまとめてあるのですけれども、基準になる令和元年度、実績値であります令和3年度、令和4年度はどうだったか、目標数値はどうかを表にしてまとめております。評価にあたっては、まず令和3年度は基準値に対してどうかという評価をしていただいて、目標数値に向けてどうなのかということになるのですが、令和4年度については令和3年度と対比してみても、どれだけ進捗していったかを含めて評価をしていただいております。

○吉川 遂也委員長 新規の事業も、また織り込んでいくということではない。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 はい。例えば、庄原ファンクラブ事業は令和4年度から始まっておりますので、そうした事業を総合戦略の推進委員会にかけながら、織り込んでいってはおります。

○吉川 遂也委員長 ほかに。政野委員。

○政野 太委員 例えば市民交通の確保維持という項目、これはC評価になっているのだけれども、恐らくこのKPIの設定でいくと、ずっとCのままになるのではないかという気がする。もっと個別な、例えば一つ一つの施策に対してのKPIを設定して、その事業を今後も継続すべきかどうかという形にしないと、いつまでもそんなにいい結果が出てこないように感じるが、どう思っているか。

○吉川 遂也委員長 課長。

○足羽 幸宏いちばんづくり課長 御指摘がありましたKPIですが、設定をするのがなかなか難しい。理想であれば、年度ごとに成果がどれくらい出てくるのかがはかれるようなKPIを設定していきたいのですが、施策によってはKPIができないというところもはらみながら、委員さんとも意見交換をし、設定をさせてもらっております。委員さんからも、あのときはこうだったのだけれども、実際に評価してみるとなかなか難しいという御意見もいただいております。目標数値を変えることに

なると、しっかりと議論をしていかないといけないと思いますが、どうしてもKPIとして有効ではない部分が出てくれば、外部評価委員さんとも協議をしながら設定をし直すことも可能ではあると思っております。

○吉川遂也委員長 政野委員。

○政野太委員 まち・ひと・しごと総合戦略の評価がそういうものであるならしょうがないかと思うのですが、実際に市民交通について解決しなければならない課題はたくさんある。三つ目の資料にも書いてありますよね。各種やっておられます。西城地域では廃止代替バスの一部路線の調整、Ma a Sも一つですし、その一つ一つの評価をとって見てどうしていくかを決めないと、次に向かって正しい選択ができないと思うので、その辺は考えをまとめてみていただければと思います。

○吉川遂也委員長 ほかに。よろしいですか。では以上で説明を終わりたいと思います。ありがとうございました。委員会として協議すべき点があれば、取り上げますがよろしいでしょうか。事務局から報告はありますか。

○横山和昭議会事務局議事調査係長 ありません。

○吉川遂也委員長 では以上で本日の企画建設常任委員会を散会します。

午後1時37分 散 会

庄原市議会委員会条例第30条の規定によりここに署名する。

企画建設常任委員会

委員長